

田和山の森から

役員会・総会報告

役員会は予定通り4月7日(木)田和山館で開催しました。令和3年度の事業と決算について報告があり了承、続いて令和4年度の計画と予算について審議しました。特に、昨年度は県自然環境課から「自然公園の魅力アップ事業」を受け、皆様のご協力が無事終了しました。

本年度は、会発足から20年が経ち、記念事業を行う予定ですが、コロナの関係から具体的な計画は立っていません。会員の皆さんの意見を聞き決定する方針です。いずれにしても年度後半の予定ですので、ご意見を竹下か荒川までお知らせください。なお、総会は翌日4月8日(金)作業を終えた後、乃白ふれあい会館で開催し役員会の内容について説明がありました。引続き研修会を行った後、弁当を配布し散会しました。(詳細は配布した資料の通り)

◎ 主な事項

- ・ 令和3年度決算 収入 1,081,240円 支出 797,136円 残額 284,104円 (次年度繰越)
- ・ 作業実働 令和3年度作業実績 42日、参加人数 延 502人
- ・ 令和4年度予算 収入 573,106円 支出 573,106円 残額 0円 (記念事業費は別途)
- ・ 会員動向 退会者 石澤裕子(転勤のため)
- ・ 役員交替 監事退任 細田由美子(高齢により辞退)、後任 山根信男 役員退任 石井静恵
- ・ 会員数 30名 27世帯(会員数減少傾向です、お知り合いの方等ご勧誘ください)

キンランを楽しむ会

“キンランを楽しむ会”を下記により開催いたします。会員は9時までにお集まりください。今年も例年通りたくさんの花が観賞できそうです。よろしくお祈いします。

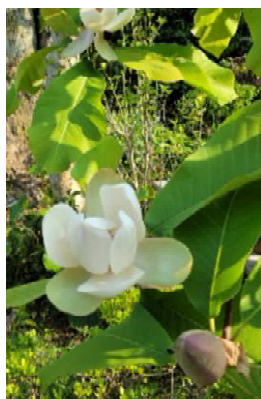
期日：5月8日(日) 会員集合9時(準備)、10時開催
内容：案内と説明・写真撮影 ※マスク着用のこと

5/2 撮影



田和山の樹木第28回 「ホオノキ」

図1 ホオノキの花



新緑の頃、森の中でひととき大きな葉をつけクリーム色の花を咲かせる、それがホオノキです。葉の大きさは、長さ20~40cmで幅も20cm前後と巨大ですが、花も大きく日本産の木の花では最大といわれています。花の直径は15~20cmにもなります。

田和山のホオノキは樹木の見本として移植したものです。北海道から九州までの広い範囲地に分布するモクレン科の落葉樹で、山間の肥沃地に育っています。葉は、丈夫で香りが良く、殺菌作用もあるため「ホオバ」として、食べ物を包むのに使われ、これにちなんで木の名が「包(ホオ)」とされたとの説もあります。朴葉味噌(飛騨高山)、朴葉寿司などが有名です。

図2 田和山のホオノキ



ホオノキは成長が早いため材は、やや柔らかめで均質のため加工しやすいことから建具、タンスの引き出し、まな板、額縁、版木、定規、製図板、刀の鞘などに幅広く用いられています。

版画制作の時に誰もが世話になった木です。

(竹下記)

※ 4月の主な活動

- ・ 役員会、総会 ・ ナメコの植菌 ・ 散策路補修 ・ 筍掘り
- ・ キンラン目印用竹作り ・ 枯れ枝の処理



今後の活動予定

5月6日(金) 13:30~、8日(日) 9:00~キンランを楽しむ会、13日(金) 13:30~、21日(土) 9:00~、
27日(金) 13:30~、
6月3日(金) 13:30~、10日(金) 13:30~、18日(土) 9:00~、24日(金) 13:30~、